

クラス番号	242	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	小林勇人
テーマ	労働の世界への架け橋——企業と求職者のマッチング		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

本ゼミの目的は、以下の3点です。

- ①企業と求職者のマッチングを体験する。
- ②企業と求職者と学生の視点の違いを知る。
- ③労働の世界へと進むうえで重要な意識や知識を得る。

具体的な内容として、就職活動や転職活動をするのに、職業紹介がとても重要になってきていることを学びます。経済や社会の変動によって、「終身雇用」や「年功賃金」などを特徴とする日本型雇用システムが上手く機能しなくなってきました。そのなかで「人」を求める企業と「職」を求める者を繋ぐのが職業紹介です。

最近「人手不足」で「売り手」市場だから、就職活動は苦労しない。日本でも転職は当たり前になったから、就職して合わなければ転職すればいい。学生の皆さんの中には、そう考えている人もいるかもしれませんが、しかし、同じ労働の世界であっても、企業の視点でみるか、求職者の視点でみるか、さらには学生の視点でみるかによって、見え方が大きく変わってきます。

労働について問題意識や権利意識を養うとともに、法や制度の知識を獲得しつつ、皆さんが将来的に労働の世界へと進む際、自分に合う仕事を「選択」できるようになるためのお手伝いができればと思います。

方法として、ハローワーク半田と連携して、主に「求人票」の改善案を考えるプロジェクトを実施する予定です（変更することがあるかもしれません）。事前学習では、求人票の見方や労働の法制度について学びつつ、友人や家族に簡単なアンケートを行ったうえで、実際の求人票を分析します。フィールドワークでは、求人票を出していた企業を見学し、その魅力や課題について観察します。事後学習では、求人票の改善案を考えて、プレゼンを行います。

授業計画：

前期 日本型雇用システムと職業紹介について学んだうえで、フィールドワークの事前学習を行います。

後期 フィールドワークとその事後学習を行ったうえで、各自の進路について考えます。

担当教員からのメッセージ

①民間企業を進路として考えているけど、企業分析や自己分析は苦手という人。

②福祉系を志望していて、労働の魅力の伝え方や条件の決め方を考えてみたい人。

③公務員に関心があって、職業紹介の仕事を体験し、就職支援についても知りたい人。

そんな人たちに、ぜひ参加してもらえればと思います。友人や家族の意見も参考にしつつ、ゼミのメンバーで協力して楽しみながら、自分が進んでいく「路」について考えてみましょう。